

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-16	高等学校	公民科	現代社会	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	現社 313	現代社会		

1. 編修の趣旨及び留意点

現代社会の諸領域における基本的な問題を、人間尊重と科学的探究精神にもとづき、広い視野から客観的に理解するとともに、主体的に考え公正に判断する能力を育てることを通して、現代に生きる人間としての在り方生き方について自ら考える力を養い、公民としての資質を培うことをめざした。

上記の趣旨を達成するために、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得をはかり、自ら考える「確かな学力」の育成を重視した構成で編修した。

2. 編修の基本方針

公民科の基盤となる知識・概念の確実な習得をはかることができるように、「現代社会」で習得すべき基礎的・基本的な知識や概念については、過不足なく盛りこむようにした。

習得した知識・概念を活用して、社会的事象の意味や意義を主体的に解釈したり、説明したりできるように「学習課題」を適宜もうけた。

課題を探究する過程で、自分の考えをまとめたり、説明したり、論述したりするなどの言語活動を通して、学び方の習得がはかれるように配慮した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1部 わたしたちの生きる社会 テーマ1 地球環境問題 テーマ2 資源・エネルギー問題 テーマ3 科学技術の発達と生命 テーマ4 情報化の進展と生活	「幸福、正義、公正など」の視点から現代社会における諸課題を考察するための題材を「クローズアップ」として提示し、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した(第1号)。	11, 17, 23, 29 ページ
	地球環境問題に対する NGO や NPO の活動, グリーンコンシューマーの考え方, 臓器移植にかかわる臓器の提供, 情報化社会のリテラシーなどについて取りあげることによって、個人の価値を尊重し、自主および自律の精神を養うことができるよう配慮した(第2号)。	11, 21~22, 25, 30 ページなど
	情報化社会における個人の倫理について取りあげることによって、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した(第2号)。	28~29 ページなど
	現代社会における諸課題の解決方法を主体的に考察する「クローズアップ」を設け、公共の精神にもとづき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した(第3号)。	11, 17, 23, 29 ページ
	地球環境問題, 資源・エネルギー問題, 科学技術の発達と生命に関する問題について、具体的な事例を多数提示しながら扱うことによって、生命や自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した(第4号)。	6~25 ページ

	地球環境問題や資源・エネルギー問題などについて、日本および世界の課題や取り組みの事例を取りあげること、日本の郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	6～19 ページなど
第2部 現代の社会と人間 第1章 青年期と自己形成の課題 1節 現代社会と青年の生き方 2節 よりよく生きることを求めて	「学習課題」のなかに、「幸福、正義、公正など」の考え方を特に用いるものを各節に設けることで、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。	39, 46 ページ
	青年としての生き方や進路・職業の選択についての事項を豊富に盛りこみ、個人の価値を尊重しながらその能力を伸ばし、職業および生活との関連と勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。	32～39 ページ
	進路・職業の選択について扱うなかで、職業を通じた社会参加やジェンダーについて取りあげ、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	38～39 ページ
	自由の実現や幸福の追求と社会正義の調和などに関する思想を取りあげることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	46～48 ページ など
	人間の生き方や自然とのかかわり方に関する思想を豊富に盛りこむことによって、生命や自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。	40～56 ページ など
	日本の伝統思想や年中行事などを学ぶことを通して、日本の伝統・文化や郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	52～55, 57 ページ
第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 1節 民主政治とは 2節 日本国憲法の基本原理 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	「学習課題」のなかに、「幸福、正義、公正など」の考え方を特に用いるものを各節に設けることで、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。	61, 71, 89, 93 ページ
	日本国憲法が保障する、職業選択の自由や勤労権・労働基本権などの基本的人権について丁寧に扱うことによって、個人の価値を尊重するとともに、職業および生活との関連と勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。	66～71 ページ
	基本的人権や日本の政治機構、さまざまな政治参加の方法などについて丁寧に扱うことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神にもとづき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	66～71, 80～97 ページ など
	公害問題の発生を受け、新しい人権として環境権が主張されるようになったことについて取り扱い、生命を尊び、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。	72 ページ
	日本における地方自治について取り扱うなかで、さまざまな形での住民の政治参加によって地域社会がつけられていることについて触れ、郷土を愛し、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	89～91 ページ
	章の冒頭において、法に関する学習の導入として法と道徳の違いや関係について紹介し、考えさせる構成をとることによって、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。	100 ページ
第2部 現代の社会と人間 第3章 現代社会と法 1節 現代社会と法		

	<p>法が基本的人権の保障、家族、売買契約、雇用などのさまざまな側面から社会生活にかかわっていることを示す内容を豊富に盛りこむことによって、個人の価値を尊重するとともに、職業および生活との関連と勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。</p>	100～105 ページ
	<p>裁判員制度や検察審査会制度など、市民が司法に関与し、参加するためのさまざまな制度や方法を取り扱うことによって、司法を通して、正義と責任を重んじながら、主体的に社会の形成に参画し、公共の精神にもとづき、社会の発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。</p>	106～108 ページ など
	<p>過失責任の原則の例外として、大気汚染防止法が無過失責任主義をとっていることを紹介し、現代社会において法が環境保全に寄与している面を紹介することで、その意義を理解し、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。</p>	104 ページ
	<p>法の成り立ちや刑罰などの制度についての学習にあたり、国際比較の観点を取りこむことによって、日本が培ってきた法制度についてより理解を深め、日本の伝統と文化を尊重し、郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。</p>	100～101, 106～107, 109 ページ
第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉 1節 経済のしくみ 2節 変化する日本経済 3節 豊かな生活の実現	<p>「学習課題」のなかに、「幸福、正義、公正など」の考え方を特に用いるものを各節に設けることで、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。</p>	127, 136, 148 ページ
	<p>労働や雇用に関する事項について、具体的な事例を交えながら扱うことによって、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うとともに、職業および生活との関連と勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。</p>	142～145 ページ
	<p>消費者問題について、消費者が消費を通して主体的に社会を改善していくという消費者市民社会の考え方について扱うことで、公共の精神にもとづき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。</p>	140～141 ページ
	<p>男女差別や労働条件の悪化など、雇用・労働問題を取りあげることによって、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。</p>	142～145 ページ
	<p>公害問題について、現状と課題や対策への取り組みなどを丁寧に取りあげることによって、生命や自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。</p>	150～152 ページ
	<p>日本の農業について取りあげるなかで、国土・環境の保全や美しい景観形成などの多面的な機能を果たしている棚田などの事例を紹介し、日本の伝統・文化や郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。</p>	138～139 ページ

第2部 現代の社会と人間 第5章 国際社会と人類の課題 1節 国際政治のしくみと動向 2節 国際経済のしくみと動向 3節 国際社会の現状と課題	「学習課題」のなかに、「幸福、正義、公正など」の考え方を特に用いるものを各節に設けることで、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。	161, 167, 183 ページ
	国際労働機関が労働者の権利のために活動していることや、国際人権規約によって個人の人権が国際的に保障されていること、また国際的な諸問題が一人ひとりの生活にも影響し、一人ひとりに果たすべき役割があることを示し、自主および自律の精神を培い、職業および生活との関連と勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。	160, 176～177, 191 ページなど
	人権の国際的保障について丁寧に取りあげることで、国際的な視点から、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神にもとづき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	160～161 ページ
	国際社会の課題として、核問題や環境問題などの生命や自然に深くかかわる問題を取りあげ、これらに対して日本が果たすべき役割について考えさせることによって、生命や自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。	164～165, 191～192 ページ など
	国際法や国連の役割、国際社会において民族や文化、宗教などに起因する対立や紛争が起こっていること、そしてそのなかで日本が果たすべき役割について取りあげることを通して、他国を尊重するとともに日本の伝統・文化や郷土を愛し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	154～165, 184～187, 190～191 ページ など
第3部 ともに生きる社会をめざして	幸福追求が対立しがちな社会問題について、知識を身につけながらその解決策を考える構成をとることで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。	193～199 ページ
	若者の労働環境に関する内容を取りあげることによって、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うとともに、職業および生活との関連と勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。	194 ページ
	現代社会における問題を複数取りあげ、その解決方法をみずから考えさせる構成をとることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神にもとづき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	193～199 ページ
	地球温暖化などの環境問題をはじめとする社会的ジレンマの問題や、農産物の貿易が自然環境の保全などの多面的機能をもつ農業に与える影響、自然環境に大きな影響を与えている原子力発電に関する問題について取りあげることによって、生命や自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。	195, 197, 199 ページ
	農産物の貿易が、自然環境の保全などの多面的機能を果たしている農業に与える影響について扱ったり、公共施設の建設などをめぐる世界共通の問題である「NIMBY 問題」について、身近な地方公共団体の例を交えながら扱ったりすることで、伝統と文化を尊重し、郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	196, 197 ページ

スキル	<p>課題の探究にあたって必要となる，課題を設定する，調べる，まとめる，発表する，討論する，といった思考・判断・表現や資料活用の技能について丁寧に解説し，その方法を具体的に示すことによって，幅広い知識と教養を身につけ，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を養ったり，個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主および自律の精神を養ったりすることができるように配慮した（第1号，第2号）。</p>	200～210 ページ
-----	---	-------------

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・ カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し，色覚特性のある生徒など，さまざまな生徒が無理なく安心して学習できるように配慮した。
- ・ 資料には項目ごとのまとまりで通し番号を付け，対応する本文の上に対応する図番号を付すなど，生徒にとって理解しやすく，使いやすいように配慮した。
- ・ 再生紙と植物油インキを使用し，環境に配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-16	高等学校	公民科	現代社会	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	現社 313	現代社会		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・第1部では、社会の主體的な形成者として、社会の在り方について考察するための基本的な枠組みを適切に学ぶために、基礎的・基本的な知識の習得をはかったうえで、「幸福、正義、公正」などを学習できるように構成した。
- ・第2部では、人間としての在り方生き方にかかわる問題について議論したり考えたりしてその自覚をいっそう深めるために、よりよく生きることの大切さの理解をはかる内容を充実させた。また、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間の在り方生き方について考察できるように、複数の「学習課題」を提示した。
- ・第3部では、それまでの学習の成果を活用として、持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究し、人間としての在り方生き方について考察を深められる具体的な課題の事例を示した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1部 わたしたちの生きる社会 テーマ1 地球環境問題 テーマ2 資源・エネルギー問題 テーマ3 科学技術の発達と生命 テーマ4 情報化の進展と生活	内容(1)	5～30ページ	4
第2部 現代の社会と人間 第1章 青年期と自己形成の課題 1節 現代社会と青年の生き方 2節 よりよく生きることを求めて	内容(2)ア	31～57ページ	11
第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 1節 民主政治とは 2節 日本国憲法の基本原理 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	内容(2)イ	31, 58～99ページ	16
第2部 現代の社会と人間 第3章 現代社会と法 1節 現代社会と法	内容(2)ウ	31, 100～109ページ	3
第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉 1節 経済のしくみ 2節 変化する日本経済 3節 豊かな生活の実現	内容(2)エ	31, 110～153ページ	16

第2部 現代の社会と人間 第5章 国際社会と人類の課題 1節 国際政治のしくみと動向 2節 国際経済のしくみと動向 3節 国際社会の現状と課題	内容(2)オ	31, 154~192ページ	17
第3部 とともに生きる社会をめざして	内容(3)	193~199ページ	3
スキル	内容の取扱い(1)エ	200~210ページ	0
		計	70